



華やかな着物姿で的を狙う新成人

晴れ着姿の新成人が華を添える そうさ歳末ジャンボ宝くじ抽選会

市民ふれあいセンターで1月11日、「そうさ歳末ジャンボ宝くじ抽選会」が行われました。

抽選には、その日成人式を終えたばかりの振り袖を着た新成人5人が、5等～1等の当選番号を決める射的に参加し、華を添えました。当選番号が決定するごとに会場内は盛り上がりを見せ、最終、30万円分の共通商品券が当たる特等を決める射的では、大勢の来場者から歓声が上がっていました。

手作り企画をプレゼント

そうさぬくもりの郷 新春のつどい

市介護老人保健施設そうさぬくもりの郷で1月21日、同施設の新年の恒例行事「新春のつどい」が開催されました。

施設を利用する高齢者に新春の楽しみをと、企画や出し物の練習、小道具作りなど、1か月半をかけて職員有志で準備。寸劇「わらしべ長者」や全職員参加のダンス「恋するフォーチュンクッキー」、獅子舞を披露しました。職員手作りの心のこもった贈り物に、利用者たちは笑顔を見せていました。



迫力のある獅子舞が登場



伸びのある声を披露（民謡の発表）

学習の成果をお披露目 寿大学 新春発表会

八日市場公民館で1月16日、同館で開催されている寿大学の発表会がありました。

寿大学とは、おおむね60歳以上の人を対象にした“生きがい講座”で、芸能や文学など全11講座を開催。当日は、詩吟やカラオケ、民謡、舞踊、社交ダンスの発表が行われ、受講者たちが昨年6月からの積み重ねてきた練習の成果を披露すると、客席から大きな拍手が送られていました。なお、書道や川柳といった文学や手芸などの作品発表は、2月7日（土）、8日（日）の公民館まつりで展示されます。

～地域の伝統行事～

飛び散る水しぶきと
立ち上がる熱気



1月11日 小高の裸参り

飯高地区小高で、毎年、成人の日の前夜に行われる真冬の水ごり行事「裸参り」が行われました。22時すぎ、妙長寺の門前に下帯姿の男衆約50人が集まると、手桶で冷水を頭からかぶり身を清め、約500m離れた八坂神社へ向かい、無病息災・五穀豊穣を祈願しました。

舞を披露する獅子



1月8日 仁組の獅子舞

栄地区栢田で、仁組獅子舞が行われました。獅子が集落内の各戸を回って厄病や災いを噛み碎き、五穀豊穣・無病息災を祈る行事で、家に獅子が上がれば、奏の囃子に合わせ華麗な舞を披露。訪問を受けた家庭の人たちは獅子に体を噛んでもらい、今年1年の健康を願いました。

良い年を願いを狙う



1月7日 六社大神の御歩射

野田地区野手の六社大神で、同神社の春季例大祭である御歩射が行われました。一年の吉凶を占う御的式では、宮司と祭礼年番地区の伊橋祭典委員長が境内に設けられた的に向けて交互に矢を射り、今年の五穀豊穣、商売繁盛を祈願しました。

高齢者から見守りにコンビニと協力 セブン-イレブンと協定を締結

コンビニエンスストア大手の株式会社セブン-イレブン・ジャパンと市は12月19日、高齢者や障がいのある人の見守り活動に関する協定を結びました。

協定には、店舗での販売時や宅配サービス中に、高齢者宅に郵便物がたまったままや日中に雨戸が閉まったままのとき、また、日常と明らかに様子が違う状態のときには、速やかに市に連絡をするという内容が盛り込まれています。

締結式の中で、太田市長は「万全を期すためには事業所との連携は不可欠」と述べ、同社の内竹・千葉ゾーンマネージャーも「今後も市とさまざまな取り組みを行い、よ



太田市長と内竹ゾーンマネージャー（中央右）を囲む市内各店舗の経営者

り良い町を作りたい」とあいさつ。高齢者などの見守りに向けた連携強化のさらなる一歩を踏み出しました。

匝瑳警察署員による啓発・交流イベント

110番の適切な利用を呼びかけ

「110番の日」の1月10日、ふれあいパーク八日市場で紙芝居やハリキリ戦隊ソーサマンの寸劇などを通じて110番の適切な利用を呼びかける啓発イベントが開かれました。

紙芝居は連れ去り防止の標語「いかのおすし」を教える内容。紙芝居後にはソーサマンが登場し、標語を確認しながら紙芝居に出てきた怪人・イカ星人を退治すると、通報で駆けつけた警察官に引き渡すという展開で、訪れた家族連れに110番通報の仕方を周知しました。



退治したイカ星人を警察官に引き渡すソーサマン

中学生と武道の合同稽古

1月17日には、武道を通じた交流で非行防止などを図ろうと、中学生との剣道・柔道の合同稽古が八日市場第二中学校で行われました。

剣道には市内3中学校の剣道部員が、柔道には八日市場第二中の柔道部員の他に旭、銚子両市内の中学校にも声をかけ、合わせて40人余りの中学生が参加。稽古に参加した太田市長から「成長の過程で記憶に残る一日となるはず。胸を借りて頑張ってください」と激励を受け、約2時間をかけて心地よい汗を流しました。



文字通り胸を借りての交流



野田地区今泉の稲生神社で、ひげなで三杯が行われました。氏が東西に分かれて酒を飲むもので、ひげをなでる仕草が次の酒を要求する合図となり、次々と競って酒を飲む習わし。酒豪らは、なみなみと注がれた椀の酒を一気に飲み干し、五穀豊穰・家内安全を祈願しました。

1月15日 稲生神社のひげなで三杯

粥の入り具合に視線が集まる



匝瑳地区松山の松山神社で、約350年前から続く筒粥神事が行われました。作物名や季節の日照などが書かれた青竹と小豆入りの粥を一緒に鍋で煮込み、粥の入り具合でその年の吉兆を占うもので、今年の結果はまずまず。作物は小麦や大根、季節は8〜9月が良いとされました。

1月15日 松山神社の筒粥神事

燃え上がる大篝火を囲む人たち



飯高地区金原の三社大神で、篝火を焚き無病息災を祈願する大篝御の神事が行われました。成人の日の未明、松や青竹を積み上げて作った高さ約6mの大篝火が入ると勢いよく燃え上がり、時折、青竹の弾ける音が響く中、集まった住民らは篝火を囲み和やかな時を過ごしました。

1月12日 金原の大篝